



平成20年第2回町議会定例会が6月30日招集され、報告5件、議案7件などが審議され、7月4日閉会しました。そのあらましについてお知らせします。

町政報告 (要約)

地方税法の一部を改正する法律（平成20年法律第21号）が4月30日公布され、平成21年度以後の各年度分の個人の住民税について、①控除対象寄附金の拡大等、②地方公共団体に対する寄附金税制の見直し、の措置が講じられることとなりました。

この制度は、「ふるさと」を応援したいという納税者の方々の思いを実現するため、地方公

企画課関係

ふるさと納税制度 新たな寄附金条例制定を検討

共同体に寄附を行った場合、個人住民税や所得税を一定限度額まで控除する制度です。

このふるさと納税でお寄せいただいた寄附金の使途は、現行の第4次積丹町総合計画の基本構想（平成13年度策定）に定める当町がめざす「町の将来像」の理念に沿った施策の展開のために活用させていただくことを基本としていきたいと考えています。

また、この機会に、積丹町の自然や歴史、産業など様々な優れた資源、町民との出会いや交流を通じて、当町に魅力と関心を寄せている道内外の積丹ファンの方々からの今後の積丹町の活性化と地域の振興への参画支援を期待し、寄附金に関する新たな条例の制定を検討してまいります。

税務課関係

平成19年度の 主な税目別収納率

町民税については、定率減税の廃止と、税源移譲により調定額が増加したものの、現年度分の収納率は前年度比約1・92%、

平成19年度 各会計決算の収支見込みに見る財政状況

連結実質赤字比率は32・5%
累積赤字1億8千万円縮減

平成19年度末での国民健康保険事業特別会計で有する翌年度繰上充用金総額は、約7億2,200万円（前年度約9億500万円、約1億8,300万円の縮減）と見込まれており、財政健全化法に定める連結実質赤字比率は32・5%と推計されます。

また、平成19年度各会計決算収支見込みを、3月に策定しました「積丹町財政健全化計画」の計画数値と比較すると、連結実質収支で1億2,844万8千円、連結実質赤字比率で7・2ポイントいずれも縮減された収支見込みと推計しています。

このことから連結実質赤字比率については、財政健全化計画で想定した平成19年度目標数値より改善した数値が見込まれ、法律に定める「再生団体への転落回避」への町をあげての懸命の努力の成果が見えてきたと言えそうですが、「早期健全化団体」の指定となる20%の基準値は依

然として回避できていない厳しい状況です。

財政推計収支の見直し

国は9月に4指標を公表

また、国民健康保険事業特別会計で有する繰上充用金は、依然として7億2,200万円の巨額の水準にあり、その解消も行わなければならないことから、これまでの行財政改革への取り組みを継続していかねばならない状況に変わりはありません。

今後、平成19年度の決算見込みと、平成20年度地方交付税や財政健全化計画策定以後の状況変化を踏まえた財政推計収支の見直し作業を、平成20年度地方交付税算定事務が終わる7月中旬を目途に着手したいと考えています。

また、法律に定める4つの財政指標の、平成19年度決算見込みによる町から北海道への報告は9月上旬に予定されており、国は都道府県からの報告を受け、9月末には4指標を「暫定値」という形で公表する予定とされ



平成19年度税及び税外収納概況 (単位：千円)

区分	現年度分			滞納繰越分		
	調定額	収納済額	収納率	調定額	収納済額	収納率
一般会計 (※1)	186,107 (177,568)	179,576 (173,907)	96.49% (97.94%)	27,869 (38,674)	2,253 (5,474)	8.09% (14.16%)
国民健康 保険税	151,126 (147,671)	139,858 (139,858)	92.54% (93.63%)	65,678 (84,903)	6,601 (4,568)	10.05% (5.38%)
税外収入 (※2)	165,293 (170,741)	161,987 (168,555)	98.00% (98.72%)	35,296 (38,178)	2,528 (2,543)	7.16% (6.66%)

※下段()は前年度実績
 (※1) 町民税、固定資産税、軽自動車税、タバコ税、入湯税など
 (※2) 保育料、住宅使用料など20科目

滞納繰越分が約11・91%低下しました。
 固定資産税及び軽自動車税については、現年度分の収納率が前年度比約1・73%及び約0・7%とそれぞれ低下し、滞納繰越分については、固定資産税が約2・4%低下し、軽自動車税については約11・71%上昇しました。
 また、国民健康保険税について

本年4月1日から新しい国の公的医療制度としてスタートした後期高齢者医療(長寿医療)制度については、制度の根幹に関わる国民的批判が高まる中で、国会での論議と国の制度運用に係る手直しが初年度から検討されるなど、都道府県広域連合はもとより全国の市町村におきましても複雑な制度変更の事務処理が予想され、その対応に苦慮している実情にあります。
 そうした状況の下で、現在、国が制度運用の手直し対策とし

後期高齢者医療(長寿医療)制度

住民福祉課関係

では、平成18年度より若干調定額が増加し、現年度分の収納率では、前年度比1・09%低下しましたが、滞納繰越分については約4・67%上昇しました。
 これら税及び税外収入の収納強化対策については、行財政改革における歳入の確保を担う重要課題ですので、臨戸訪問と強制執行など収納体制の強化による滞納の防止と縮減に努めました。

平成19年度各会計決算概況 (単位：千円)

区分	歳入総額		歳出総額	差引額		
	一般会計からの繰入金					
一般会計	2,483,097	2,316,790	166,307	166,307		
特別会計	老人保健	618,428	43,271	618,428	0	
	簡易水道事業	150,833	89,409	150,833	0	
	国民健康 保健事業	事業勘定	621,689	75,026	727,380	翌年度繰上充用金 105,691 (128,922)
		直診勘定	234,919	168,141	850,691	翌年度繰上充用金 615,772 (775,771)
	下水道事業	86,288	33,818	86,288	0	
	介護保健事業	348,763	68,110	332,990	15,773	
	介護福祉サービス事業	33,787	13,188	33,787	0	
	産業交流雇用対策推進事業	201,458	83,018	201,458	0	

ています。
 こうした平成19年度の決算見込みから見た町の財政運営の厳しい現状と、財政健全化計画の達成状況については、更に町行財政改革推進委員会並びに町民の皆さんへの透明性のある、詳しく分かりやすい状況説明に努めるとともに、引き続きあらゆる機会を通じて理解を深めていただくことに努力していきますので、町民の皆さんの一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

累積赤字額
7億2,146万3千円
 (前年度9億469万3千円)
 (前年比△1億8,323万円)

※()は前年額

て検討している要点は、

一 7割軽減世帯のうち8月まで年金から支払っている方については、10月からは保険料(均等割)を徴収しないこと。

なお、7割軽減世帯で納付書等で納めていただく方についても、同等の軽減措置を講ずること。

二 平成20年度において所得割を負担する方のうち、所得の低い方(年金収入が153万円から210万円程度までの被保険者)については、都道府県広域連合の裁量により原則一律50%軽減できること。

三 平成21年度以降の対策として、7割軽減世帯のうち長寿医療制度の被保険者の全員が年金収入80万円以下の世帯については、保険料(均等割)を、9割軽減とすること。

四 平成21年度以降において、所得割を負担する方のうち、所得の低い方(年金収入が153万円から210万円程度までの被保険者)について、所得割額を50%程度軽減すること。

五 平成21年度以降において、このような措置を講じてもな

お保険料が上昇し、これを支払うことができない特別の事情がある方については、広域連合条例に基づく個別減免を行うことも含め、市町村においてきめ細かな相談を行える体制を整備すること。

これらの手直し対策は、いずれも現在国において検討途上であり、今後の国の正式決定を待たなければならぬ状況です。

H19ごみ総排出量 前年比41%減

当町のごみ処理の有料化の初年度となる平成19年度の年間生活系・事業系の可燃ごみ、不燃ごみ及び廃プラスチックの総排出量は、660トン(前年比46.2トン、約41%の減)、資源ごみについては、219トン(前年比15トン、約7.4%の増)という状況です。

また、平成19年度のごみ処理手数料等収入済額は、965万5千円で、予算額952万4千円に比較して若干上回る収入見込となっております。

一方、歳出のごみの収集委託費、クリーンセンター管理費、

一部事務組合及び広域連合負担金など、廃棄物処理対策事業に係る総事業費は約7,218万2千円(前年比1,363万7千円、約15.9%の減)と見込まれます。

びくに保育所24人が入所 みなと保育所は16人

本年4月1日現在の保育所の入所者数は、びくに保育所19人(前年比1人の減)、みなと保育所17人(前年比2人の減)という状況でしたが、6月1日現在では、びくに保育所ではウニ漁等の繁忙期を迎え24人(前年同期同数)、みなと保育所においては転出により1人減の16人(前年同期20人)の入所者数です。

国保診療所関係 単年度赤字減少

国保診療所の平成19年度の運営状況については、外来患者数では、延べ1万2,200人(前年比約1,500人、14%増)で、一日平均約50人(前年比約6人、13.6%増)という状況です。

また、昨年4月から実施している余別・入籍管内の患者送迎

平成19年度国保診療所運営収支

(単位：万円)

区分	収入		支出		差引	単年度 実質収支
	単年度 実質収支	単年度 実質収支	単年度 実質収支	単年度 実質収支		
平成19年度	2億3,491	6,677	8億5,069	7,491	△6億1,578	△814
平成18年度	8,448	6,773	8億6,025	8,448	△7億7,577	△1,675

※収入には一般会計繰入金、支出には前年度繰上充用金を含む。

商工観光課関係

バス運行については、延べ1万419人(延べ101日運行で一日平均約14人)の患者の方々が利用されています。

ゴールデンウィークを含む4月、5月の各観光施設の利用状況は、原油の高騰と天気の影響などから観光客の出足が鈍く、「水中展望船」が2,955人と前年比256人の減(約8%減)、「ペニンシュラ」が4万5,528人と前年比2,230人の増



(5%増)という状況です。

神威岬自然公園遊歩道整備 9月から12月まで通行止め

神威岬自然公園遊歩道整備の工事施工にあたっては、橋の架け替えも要することから9月から12月までの工事予定期間中、女人禁制の門から神威岬灯台まで、一般観光客の通行を一時通行止めとして工事施工せざるを得ない現地の環境条件下において、利用者の方々には大変ご迷惑をおかけいたしますが、一日でも早い工事完成を目指すために、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

自然環境保全協力金 H19は84万円の募金

当町の自然環境の保全や美化、公園等利用者の安全対策に係る経費の一部に充てることを目的に、積丹町自然環境保全協議会が平成19年7月神威岬に設置した同協力金箱に、平成20年3月31日現在、84万6,039円の募金をいただきました。

協力金は、遊歩道の防護柵の補修材料費などに有効に使わせていただくとともに、善意のご

協力をいただきました多くの方々に深く感謝を申し上げます。



観光客誘致事業 海外へ積丹観光PR

6月3日札幌テレビ塔において、韓国と台湾のマスコミ及び旅行代理店に対し、積丹観光のPRを積丹観光協会と合同で行っていただきました。

これは、北海道が行う平成19年度「癒し」と「健康」ツーリズム推進事業のモデル地域として、本町が「推進地域」に指定されたことを契機に、北海道及びNPO法人健康保養ネットワークより要請を受け、北海道及び沼田町と合同で観光宣伝を行ったものです。

今後、海外の旅行者の具体的

な旅行商品として企画されることに期待を寄せております。

岬の湯しゃこたん H19利用者約3%減

岬の湯しゃこたんの平成19年度の利用状況は、入浴者数12万5,766人(前年比約3,665人、2.8%の減)、入館料等収入総額1億1,811万円(前年比約4,277万円、3.5%の減)という状況です。

また、本年5月末現在では、入浴者数1万9,124人(前年同期比約2,419人、11.2%の減)、入館料等収入総額1,920万円(前年同期比約2,86万円、13%の減)という状況です。

農林課関係

H19農業生産状況 1,500万円の減少

平成19年度の当町の農業生産状況は、干ばつと高温の変動の大きい気象状況の下での厳しい生産活動でした。

畑作は、温度と共に栽培技術の向上等から反当り収量の増量、冬至用カボチャ等優位的販売戦

略の展開などから生産額は、1億1,600万円(前年比約8%増)の実績です。

酪農畜産は、乳量の減産が続き、更に原油及び穀物の異常な高騰による飼料価格高から、酪農においては1億8,400万円(前年比約10%減)、畜産では2億2,300万円(前年比約4%減)の生産実績となり、農協取扱総生産額は約5億2,300万円と前年度比では約1,500万円の減少となったとります。

また、合併後11年目を迎える本年度の新おたる農業協同組合における事業計画では、積丹事業所においては、消費者への安全な農畜産物の提供のためのクリーン農業の更なる推進をめざすこととしております。

さらに所得向上対策としては、ハウス施設の充実と早期出荷や継続的な地力増進対策、消費者と密着した契約栽培の推進や営農コスト軽減対策等を進めることを基本とし、「持続型農業生産基盤の確立」、「安全・安心な農畜産物の生産拡充」を柱とした「しゃこたんブランド」の確立と効率的な契約栽培と戦略的



な有利販売の強化を促進することとしております。

水産課関係

ニシン漁好漁

ウニ漁の水揚げに期待

平成19年度の当町の漁業生産実績は、総水揚量2,801トン、総水揚額10億6,700万円(前年度比いずれも約29%減)で、東しゃこたん漁業協同組合の計画水揚額14億1,500万円を約3億4,800万円(約24%)下回る厳しい結果となりました。

本年4月、5月の春漁の状況は、ヤリイカ、コウナゴ等の漁業が不振であった一方、ニシン

漁が当町では、水揚量277トン(前年度約0.7トン)、水揚額1,200万円(前年度約28万円)で、古平町を含む東しゃこたん漁業協同組合全体では、水揚量112トン(前年度約26トン)、水揚額5,800万円(前年度約800万円)と、近年まれな好漁でした。

しかし、全般的な春漁の水揚げは、依然として低調な状況で推移しており、加えて漁船用燃油の異常な高騰が漁業生産活動はもとより漁家経営への深刻な影響を及ぼしており、国の緊急的な対策の重要性が強く望まれるところであり、沿岸町村の一人員として要請運動に努めてまいりたいと考えております。

ニシン稚魚6万尾放流

北海道が事業主体の大型魚礁設置事業については、6月4日に工事が発注され、余別沖合に113基の設置が予定されております。

東しゃこたん漁業協同組合が事業主体のニシン資源増大対策事業は、5月27日に体長6cmの稚魚6万尾が美国漁港沿岸海域

に放流されました。

ウニ種苗放流事業については、5月30日に北海道栽培漁業振興公社が生産したウニ種苗17万2千粒が、旧美国及び旧積丹漁協管内海域に放流されました。



美国・日司・余別 漁港整備事業

3月に発注された美国漁港北防波堤改良工事が着工されているほか、余別漁港北防波堤改良工事他が6月に発注され7月から着工されます。

また、日司漁港西防波堤越波対策は、本年度の計画工事の同防波堤堤体部延長30mが5月に発注されました。

美国漁港海岸環境整備事業に

建設課関係

野塚克雪センタートイレを改修

6月20日現在における建設工事等の発注状況は、分収造林事業神岬団地作業道新設工事、町道維持補修工事、野塚克雪センタートイレ改修工事及び簡易水道量水器取替工事、計4件、総工事契約金額2,347万7千円です。

また、委託業務として神威岬自然公園遊歩道実施設計委託業務及び地籍調査事業委託業務、計2件、契約金額2,714万3千円で、総件数6件、総額5,062万円で執行中です。

今後、神威岬自然公園遊歩道整備工事及び分収造林事業美団地(六地区)作業道新設工事の発注を予定しているほか、他の計画事業についても準備が整いしだい、逐次発注していきま

ついても、護岸延長215mが5月に発注され、すでに着工しています。



美国地区地籍調査 地籍簿閲覽で最終確認を

4年目を迎えた地籍調査事業については、本年度計画の作業工程の説明及び土地の立ち入り等についての関係者の理解と協力をお願いするため、6月4日に事業説明会を開催しました。

平成17年度から着手し今年で最終年となる美国市街地の道道船澗美国港線から東側美国川周辺地区については、土地所有者の最終確認となります地籍簿の閲覽を7月中旬から8月中旬までの20日間実施します。

道道船澗美国港線から西側の山岸地区については、昨年実施した境界の確認案により現地に仮杭を設置した後、地籍調査事業の作業工程上最も重要な作業で、土地所有者に現地立会をしていただく一筆地調査を、9月上旬から実施します。

野塚市街地の道路冠水 10月から対策工事に着手

昨年9月の野塚地区の局地的な集中豪雨により、野塚市街地の国道と道道の交差点部の道路が一時的に冠水した経緯にあり、

小樽開発建設部に路面排水処理対策の実施を要請してきたところですが、本年10月にその対策工事に着手する見通しとなりました。

国道229号余別トンネル工事については、計画地内の物件補償が一部残っているものの、用地の買収処理が5月中に完了したことから、平成21年度からの本格的な工事着手に向けた準備を進めることができる見通し

教育行政報告

学校教育関係 H20新入学児童は21人

今年度の小学校の入学式は平成13年度以来、全小学校において4月7日に挙行されました。新入学児童数は21人（美国小学校12人、幌武意小学校1人、入舸小学校2人、日司小学校2人、野塚小学校2人、余別小学校2人）で、小学校の全児童数は110人（前年度比2人増）です。中学校は4月8日に行われ、新入生は20人で生徒数は59人（前年度同数）という状況です。

となりました。



児童生徒の安全対策 スクールガードリーダー2人を配置

児童生徒の安全を確保するためには、学校はもとより、地域社会全体で学校安全の充実を図る必要があることから、登下校時の安全確認など、これまでの取り組みのほか、北海道教育委員会からの委嘱を受けた2名のスクールガードリーダーを配置し、各地域婦人会等のパトロールボランティア団体と連携を図りながら、地域ぐるみの効果的なパトロール活動を展開してまいります。

水泳大会が8月3日開催 B&Gスポーツ大会北海道大会

平成20年度B&Gスポーツ大会北海道大会（水泳の部）が8月3日(日)積丹町で開催されます。この大会は北海道B&G地域海洋センター連絡協議会（加盟37市町村）に加盟する海洋センター並びに海洋クラブが持ち回りで実施するもので、積丹町は平成11年に開催しておりますが、2回目の開催地となります。

この開催決定をうけ、積丹町実行委員会を組織し、5月8日に第1回の会議を開催し、会則や開催要領に基づいて参加市町村の取りまとめをしております。



審議された案件

報告第1号

専決処分承認を求め件
 (平成19年度積丹町一般会計補
 正予算・第7回)

現行予算に8,476万円を
 追加し、24億7,946万2千
 円とするものです。

(承認)

報告第2号

専決処分承認を求め件
 (平成19年度積丹町国民健康保
 険事業特別会計補正予算・第5回)

直診勘定において現行予算の
 総額8億5,735万4千円の
 歳入について、諸収入8,47
 6万円を減額し、一般会計繰入
 金を同額増額するものです。

(承認)

報告第3号

専決処分承認を求め件
 (平成20年度積丹町国民健康保
 険事業特別会計補正予算・第1回)

事業勘定については、1億5
 70万円を、直診勘定では、6
 億1,578万円をそれぞれ前
 年度繰上充用金として予算措置
 を講じたものです。

(承認)

報告第4号

平成19年度積丹町一般会計予
 算繰越明許費繰越計算書

平成19年度積丹町一般会計予
 算の繰越明許費は、平成20年度
 に繰り越したので、地方自治法
 の規定により報告するものです。

(承認)

報告第5号

積丹町土地開発公社の運営状
 況について

地方自治法の規定により議会
 に報告するものです。

(報告)

議案第1号

積丹町税条例の一部を改正す
 る条例について

平成20年度地方税制の改正に
 伴う地方税法の一部を改正する
 法律が公布されたことにより、
 関係条文規定を整備するもので
 す。主な改正点は、

- 一 個人住民税における寄附金
 税制の拡充
- 二 個人住民税における公的
 年金からの特別徴収制度の導入
 などです。

議案第2号

積丹町国民健康保険税条例の
 一部を改正する条例について

(原案可決)

議案第3号

積丹町土地開発公社の解散に
 ついて

後期高齢者医療(長寿医療)
 制度の創設及び地方税法等の一
 部を改正する法律の施行により、
 国民健康保険税に係る改正が行
 われたことによるものです。主
 な改正点は、

- 一 税率及び賦課限度額等の改
 正
- 二 世帯全員が65歳以上75歳未
 満の国民健康保険被保険者の
 世帯主より、国民健康保険税
 の公的年金からの特別徴収の
 実施
 などです。

(原案可決)

議案第4号

積丹町土地開発公社は、平成
 10年度以降公共用地の取得はな
 く、また今後も比較的大きな公
 共用地の先行取得は見込まれな
 い状況にあるため、公有地の拡
 大の推進に関する法律の規定に
 基づき、議会の議決を求めら
 れるものです。

(原案可決)

議案第5号

平成20年度積丹町国民健康保
 険事業特別会計補正予算(第2
 回)

事業勘定において、現行予算
 に150万円を追加し、7億3,
 778万4千円とするものです。

(原案可決)

議案第6号

平成20年度積丹町介護保険事
 業特別会計補正予算(第1回)

現行予算に926万9千円を
 追加し、3億6,266万4千
 円とするものです。

(原案可決)

追加し、23億1,498万4千
 円とするものです。

議案第7号

積丹町監査委員の選任について

地方自治法の規定に基づき、
 議会の同意を求めらるものです。

(同意)

議案第8号

※議員発議により、「漁船用燃
 油高騰危機打開に向けての意
 見書」など意見案3件が提出
 され、いずれも原案どおり可
 決されています。

積丹町長選挙及び積丹町議会議員補欠選挙における候補者の選挙運動に関する収支報告

平成20年6月1日執行の積丹町長選挙及び積丹町議会議員補欠選挙における候補者の出納責任者から提出のあった、
 選挙運動に関する収支報告書の要旨は、次のとおりです。 積丹町選挙管理委員会 委員長 磯野久治

《積丹町長選挙》

届出 番号	候補者 氏名	収入の部(円)			支出の部(円)										選挙運動 費用支出 制限額(円)	
		寄付	その他の収入	計	人件費	家屋費	通信費	交通費	印刷費	広告費	文具費	食糧費	休泊費	雑費		計
1	松井秀紀	315,000	553,980	868,980	315,000	270,449	13,772		41,500	186,074	3,079	19,950		19,156	868,980	1,573,000

《積丹町議会議員補欠選挙》

1	佐藤 晃	10,000	282,293	292,293	10,000				139,375	125,820		17,098			292,293	1,177,900
2	葛西敏夫		158,140	158,140					42,000	116,140					158,140	